

輝け！清流魂

便り
生徒会第1号
H26.7.17

はじめの一歩入学式

私が、入学する前に思っていたことは、小学校と中学校はどんな違いがあるかです。

そして、もうすぐ中学生になると思うと、楽しい気持ちと少し緊張がありました。

入学式の日、私達はたくさんさんの生徒や先生に迎えられました。校長先生や生徒会長の言葉を聞



き、「中学生になったんだな」と思いました。また、初めて会う先輩方もたくさんいました。部活動や委員会などでたくさん先輩達と接する機会が増えてきて、安心して生活できています。

中学校生活にもなれてきました。これからは気をひきしめていきます。(一年 古家 美咲)

き、「中学生になったんだな」と思いました。また、初めて会う先輩方もたくさんいました。部活動や委員会などでたくさん先輩達と接する機会が増えてきて、安心して生活できています。

中学校生活にもなれてきました。これからは気をひきしめていきます。(一年 古家 美咲)

より絆が深まった 集団宿泊教室

四月に行われた集団宿泊学習では、三つのことが印象に残っています。

一つ目は、「フライングディスクゴルフ」です。意外に難しく、一回では入らず、三回四回、時には七回で入りました。あきらめずに、粘り強く頑張りました。とてもステ

キな思い出です。二つ目は、山登りです。ぼくは具合が悪く、車で帰って来たけれど、後から良くなって帰りは楽しく帰りました。高低差があつてきつかったけど、背中を押してあげたりして協力することを学びました。

三つ目は、木工ストラップづくりです。少年自

決まりました。何事にも全力で取り組み、自分の限界を越えていくという意味で体育大会のテーマにもなりました。

第二議案では、あいさつについてでした。昨年からはじめた校門一礼もあり、感謝の気持ちを表すためには必要なことだと思います。今年は、昨年

「動」を行うことになりました。毎朝小学生や地域の方々にあいさつをします。小学生の元気で大きな声や、私たちのあいさつに、通勤途中の車窓の向こう側から礼を返してくださる方々のおかげであいさつをしている側もすごくうれしく思います。これからも、地域と

つながる鹿北中生徒会を

私たちの鹿北中を よりよくなるために

今年の生徒総会でも鹿北中をよりよいものにするよう、みんなの意見を出し合いました。

第一議案の生徒会年間テーマについて話し合い、「Break through (突破)に

決まりました。何事にも全力で取り組み、自分の限界を越えていくという意味で体育大会のテーマにもなりました。

第二議案では、あいさつについてでした。昨年からはじめた校門一礼もあり、感謝の気持ちを表すためには必要なことだと思います。今年は、昨年

「動」を行うことになりました。毎朝小学生や地域の方々にあいさつをします。小学生の元気で大きな声や、私たちのあいさつに、通勤途中の車窓の向こう側から礼を返してくださる方々のおかげであいさつをしている側もすごくうれしく思います。これからも、地域と

つながる鹿北中生徒会を



めざしていきます。(三年 内村 茉樹)



た。(二年 井出恵美子)

体育大会でつなげた思い

私が一番体育大会で印象に残った競技は、団体抗リレーです。各団の速い選手が力を精一杯出し走り抜けました。最後のプログラムだからこそ、

然の家の近くにある木を使って、作りました。紙やすりでつるつるにして、絵を描きました。みんなの絵を見て、自分らしい絵を描いていました。みんなの個性がよく表れていました。中学校では、他にも色々な活動があると思うのでこれから、楽しみです。(一年 北原 葵大)

とても盛り上がった競技でした。他にも、男子の組み体操や女子のダンスなど楽しめる種目がありました。練習はほとんど毎日とてもきつかったです。が、三年生にとっては最後だから最高の体育大会にしたいという思いで後輩の私達も、がんばりました。最高の体育大会にできたかは分かりませんが終わって先輩方が泣いた姿を見て、がんばってよかったなと思うことができました。青団が勝ち、赤団が負けてしまいました。どちらも体育大会を楽しめたと思います。(二年 井出恵美子)